

第1回町民そり大会を開催

一之宮まち協だより

第35号

平成29年4月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424



バランスをとりながら風を切って一気に滑りくだりました

3月12日の日曜日、快晴の空の下、まち協体育部が主催する町民そり大会がモンデウススキール場で行われました。

昨年までは町民スキー大会を行ってききましたが、参加者が減ってきたこともあり、今年体育部ではそり大会を企画しました。

部門は、保育園・小学校低学年・中学年・高学年・一般・ペアの部に別れて競い合いました。

参加者は67人と予想に反して多く、主催者側を喜ばせました。

普段はスキーヤーやボーダーが滑るゲレンデをそりで滑る事ができ、参加者はまた違った冬を満喫したようでした。

その後行われた宝探しでは、ゲレンデにばらまかれたくじ付きのミカンを参加者全員で探し、景品が当たった人もいました。

今シーズ

ンの最終営業日に位山で楽しく過ごすことができ、みなさん良い思い出ができました。

(中畑仁志)



あひさつする田湯会

宮 再発見!

水無神社の土雛展示

素朴で懐かしい雛様の晴れ姿

土雛(つちびな)人形が3月1日から水無神社境内の南授与所で展示され、参拝に来た人などが素朴な人形に懐かしそうに見入っていました。

展示されている雛人形は、一之宮町内で所有されていて当時の宮村へ寄付された山田焼の土雛を中心に100体ほどで、江戸時代中期に作られた「享保雛」とみられる貴重な雛様なども飾られています。



これらは飛騨位山文化交流館に所蔵されていますが、展示されるのは昨年引き続き、同交流館が完成した時に展示されて以来3度目。4月3日の「生きびな祭り」や5月3日

から始まる大祭のイベントとして、祭りを盛り上げようといわれたものです。

内裏雛や官女や囃子、隨身などのほかに七福神や歌舞伎役者、武者、また招き猫やいろいろな動物の土雛も飾られています。

訪れた女性は思わず「なつかしい!」と感嘆の声を上げ、家に昔あった土雛かもしれないなどと久しぶりに出会ったように見えました。



懐かしそうに雛様を見て回る参拝者

水無神社式年大祭あれこれ ― 四 ―

飛騨一宮水無神社式年大祭齋行に向けて（大祭事務局）

□奉幣祭の齋行について

前回の式年大祭では畏き（かしこ）まき（あ）た（天皇陛下）より御幣（ごいばく）を賜り、飛騨一円より集う多くの神社と参拝者を出迎え盛大に祭典が行われました。

今回の式年大祭においても前回同様御幣を賜り、式年大祭初日の5月3日の本祭りにおいて奉幣祭を齋行いたします。



前回大祭時の奉幣祭の様子

□木曾町福島水無神社の参列について

当社の分社である木曾町福島の水無神社が毎年例祭のため新たに建造する御神輿（みみこし）をともなつて御参向（ごまう）されます。

7月22日の例祭では神様が御出（ごい）でせられ、幸助（きょうすけ）と呼ばれる2人の精進（しんじん）に授けられ、真新しい白木の御神輿（みみこし）に乗せられます。

赤ちゃんの健やかな生育を祈る「心願」の神事も

御神輿（みみこし）は「杵持（きもち）」と呼ばれる担（か）ぎ手により担（か）がれて巡行（めぐり）し、赤ちゃんのいる家では「心願（しんがん）をお願いします」と言（い）って、赤ちゃんを惣助（そうすけ）・幸助（きょうすけ）に抱（か）いてもらって御神輿（みみこし）の下（した）をくぐらせる独特（とく）のお参（ま）りの仕（し）方（か）となつてい（い）ます。



福島水無神社での心願

御神輿（みみこし）の下（した）をくぐらせるに、丈夫（たくま）な子（こ）に育（そ）つと（と）い（い）い（い）伝（でん）え（え）が（が）あ（あ）り（り）、
「ソースケ、コースケ」の掛（か）け声（こゑ）ととも（と）に御神輿（みみこし）を激（おど）しく揺（ゆ）すり、その下（した）を赤（あか）ちゃん（ちゃん）を抱（か）いた精進（しんじん）や杵持（きもち）衆（しゅ）がくぐり（くぐ）ります。

日時…5月4日午前11時〜正午
場所…神社神門前
初穂料…2千円より御志納

□鳥居横に狛犬の設置

神社鳥居横に狛犬（こまぬい）が1対、下呂市水明館瀧多賀男氏より御奉納（ごほうな）され設置（ていし）されました。



退職のごあいさつ

田中 幸夫

一之宮公民館及び飛騨位山文化交流館の管理人をこの3月末をもって退職いたしました。平成19年度に一之宮町の公民館など公的施設が、高山市から指定管理を受けてから現在に至るまで、10年という長きにわたり勤務させていただきました。誠にありがとうございました。これも偏（ひと）りに地域（ちいき）や関係者（かんけいしや）のみなさまのお陰（かげ）

新任のごあいさつ

田中 文夫

この度、縁（ゆかり）あつて公民館並びに交流館の管理業務（かんりぎふ）を務（つと）めさせていた（い）た（い）だ（い）く（く）こと（こと）となり（な）りました。どうぞよろしくお願（ねが）いいた（い）します。

公民館・交流館は、老若男女（らうじやうなんにょ）を問（と）わず、さまざまな地域活動（ちいきかどく）や各種団体活動（くわんしゆたいかどく）の拠点施設（きょてんしせつ）として利用（りよう）されているところと承知（ちやうち）しておりますが、そうした皆様（みなさま）に気（き）軽（かろ）に喜（よろこ）んでご利用（りよう）

位山句会作品より（三月句）

抽（ひ）き出（だ）す神杉（かみすぎ）の秀（ひら）や寒（さむ）の星（ほし） 隆子（たかこ）
大杉（おほすぎ）の花（はな）粉（こな）を被（か）り一（ひと）揆（てい）の碑（いし） しき
芽（め）柳（やなぎ）や大桶（おほぶく）乾（かわ）く片（かた）側（がわ）町（まち） ふみ
俳（はい）句（く）てふむづかし玩（あそ）ぶ炬（た）燧（たい）姿（すがた） 教子（けうこ）
自（じ）転（てん）車（くるま）で渡（わた）る木（き）の橋（はし）柳（やなぎ）の芽（め） 喜栄（きえい）
古（こ）き世（よ）の父（ちち）の一（ひと）声（こゑ）目（め）貼（は）剥（は）ぐ 清子（しみず）
柳（やなぎ）の芽（め）ほつほつと朝（あ）市（いち）の客（きやく） 八重子（やえこ）

と深く感謝（かんしゃ）申し上げます。

とりわけ施設（しせつ）を利用（りよう）される方々（みな）からの声（こゑ）かけや笑顔（えんご）で「今日（けふ）もがんばるぞ！」という元（もと）氣（き）をもらいました。

これからも、歌声（うたごゑ）が響（ひび）き、笑顔（えんご）があふれる生きがいづくりの場（ば）として、また地域（ちいき）づくりの活動（かどく）拠点（きょてん）として、地域（ちいき）に根（ね）ざしたいつまで愛（あい）される施設（しせつ）でありま（あ）すよう願（ねが）うものです。一之宮町（いちのみやまち）が未来（みらい）にむけて明る（あ）く元（もと）氣（き）で住（す）みよい町（まち）でありま（あ）すことお祈（ねが）りして退職（たいしょく）のごあいさつとさせていただきます。長い間（ま）本（ほん）当（とう）にありま（あ）すことござい（ま）した。

ただけですよう常に心（こゝろ）がけてま（ま）いりたいと思（おも）っております。

どうかお気（き）軽（かろ）にお声（こゑ）掛（か）けいた（い）だ（い）さ（さ）すようお願（ねが）い申（ま）し上（あ）げ、ごあいさつに代（か）えさせ（せ）てい（い）た（い）だ（い）さ（さ）す。

まち協広報部員募集

まち協広報部（まちきやうほうぶ）では当（た）広（くわ）報（ほう）紙（し）「まち協（きやう）だより」作（さ）成（せい）に携（た）わつてもら（ま）える人（ひと）を募（ま）集（じつ）し（し）ます。年（ねん）齢（れい）や性（せい）別（べつ）、経（けい）験（けん）等（とう）は問（と）いません。地（ち）域（いき）の（ひと）に親（お）しんで読（よ）んでい（い）た（い）だ（い）く紙（かみ）面（めん）を一緒（いっしょ）に作（さ）りま（ま）せんか。

■募集（ぼそ）人数（にんずう）…若干（いくばく）名（な）
■内容（ないよう）…情（じやう）報（ほう）の収（しゆ）集（じつ）、記（き）事（じ）の作（さ）成（せい）、写（しゃ）真（しん）の撮（と）影（えい）等（とう）（専（せん）門（もん）的（てき）な知（ち）識（しき）は一切（いっけつ）必要（ひつや）ありま（ま）せん）詳（しょう）しくは事（じ）務（む）局（きよく）まで
広（くわ）報（ほう）部（ぶ）事（じ）務（む）局（きよく） 53・2424（公（くわん）民（みん）館（くわん）内（ない））

しのぶ

幅（は）上（じやう）繁（ひら）次（しげ）さん（92歳）が3月20日（に）ご逝去（しよきよ）されました。自治（じ）功（こう）労（らう）者（しや）（消（しょう）防（ぼう）団（だん）員（いん）44年（ねん）、民（みん）生（せい）児（こ）童（どう）委（い）員（いん）12年（ねん）、人（じん）権（けん）擁（よう）護（ご）委（いん）員（いん）10年（ねん）ほ（ほか）か）で、宮（みや）村（むら）村（むら）政（せい）の進（しん）展（てん）に寄（よ）与（よ）されま（ま）した。謹（とん）んでお悔（くわ）やみ申（ま）し上（あ）げま（ま）す。

図書館案内



春風によって祭のけいこが聞こえる季節となりました。

4月から新生活を迎えられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

図書館は暮らしに役立つさまざまな本と雑誌を取り揃えています。ぜひ図書館をご活用ください。

<一之宮分館開館時間変更のお知らせ>

5月3日(水)～5日(金)の図書館開館時間は午後1時～5時です。期間中、上記以外の時間帯は閉館となりますのでご注意ください。本の返却は返却ポストをご利用ください。

<今月の特集>

★「できる人の時間短縮生活」

家事や仕事が快適に進む時間短縮のコツ&時間短縮レシピを紹介します。

★季節の絵本

春の花や生きものたちの絵本。おはなしの世界で春を感じてください。

<おはなし会のご案内>

4月15日(土) 午前10時30分～ スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

4～5月行事予定

4月

- 2日(日) 春の環境整備
- 5日(水) 結婚相談(交流館)
保育園入園式
- 6日(木) 小学校入学式
行政相談(支所)
- 7日(金) 中学校入学式
- 12日(水) まち協理事会(公民館)
- 20日(木) 町内会長会・班長会
まち協総会(公民館)
- 23日(日) 臥龍桜祭り
健康づくりウォーキング

5月

- 3日(日)～6日(土) 飛驒の大祭
- 23日(火) 町内会長会

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0～14歳	174	159	333	-6
15～64歳	687	714	1,401	-12
65歳以上	345	473	818	+10
合計	1,206	1,346	2,552	-8
世帯数	822戸			+7

一之宮町の人口情勢(人)

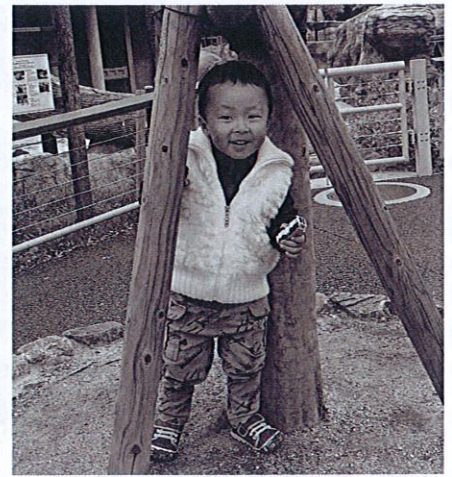
ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

あきひろ
晃 弘 くん 平成26年9月6日生まれ
お父さん: 下田 祐樹さん《山下下》
お母さん: 下田 桂子さん

『晃弘』という名前は、父ちゃんが尊敬するじいちゃんから『弘』の字を一字もらい、つけました。

親としては、とにかく健康で元気に育てほしい…それが一番の願いです。おかげさまで周りの方々にとっても可愛がってもらい、スクスクと伸び伸びと育っています。

とても動物が好きで、絵本の中はもちろんですが、大人が気付かないような所



の動物も素早く見つけて教えてくれます。このごろは愛きょうもあり、話せる言葉もだんだんと増えてきたので、もし見かけたら気軽に声をかけてくださいね。

お知らせ

■一之宮町まちづくり応援事業補助金の募集

まち協では、地域の活性化及び特色あるまちづくり推進を目的に一之宮町内の団体を対象に補助金を交付します。

交付対象者: ①町内会・班 ②ボランティア及びNPO団体 ③教育・芸術・文化及びスポーツ団体 ④商業・農業及び経済団体 ⑤地域の活性化を目的とする団体
※宗教・政治団体などは除外します

補助金の額は対象経費の3分の2以内で10万円を上限とします。

交付申請書等、必要な書類を添えてまち協事務局まで申請してください。

対象事業等や手続き等、詳しくはまち協事務局までお問合せください。(☎53-2424)。

※第1次受付締切は5月末とします。

■健康づくりウォーキングのご案内

専門家による実技講習と一之宮のウォーキングコースを実際に歩きます。

家族や友人など誘って参加してください。(中学生以下は成人の同伴で)

◇日時: 4月23日(日) ※雨天決行

つぶやき...
雪もようやく消え、春の季節となり、野球を始めとしてスポーツも盛んになってきました。
よくスポーツ選手のインタビューで「楽しんでます」という話を聞きますが、私にはこの言葉が不思議で、本当に？と疑問を感じます。勝つというプレッシャーの中で本当に楽しむことができるのだろうか？私としてはそういう感覚を味わうことが無かったからです。確かにスポーツは勝つことが目的ではないけど、何かしらの緊張の中、いろいろ考えてしまい、楽しむ感じではなかった。そんなレベルを超えて「楽しんで」できる人はすごいと思います。自分の精一杯のことをしてきたから、そういう境地になれるのでしょうか。
私も新年度にあたり、「楽しんで」というプラス思考を取り組むことを見つけたらと思っています。(山腰)

- ・午前9時～ ウォーキングセミナー
- ・午前10時～ ウォーキング体験

正午頃に終了予定です。

◇集合場所: 午前8時30分までに一之宮公民館に集合

◇参加費等: 無料、事前の申込み不要

■臥龍桜まつりのご案内

◇期日: 4月23日(日)

◇会場: 臥龍公園

◇ステージショー: 午前11時頃 杉山修ライブ、紅忍(くのいち)太鼓 演奏

■4月1日から

ふるさと写真館開設します!

みなさまから募集をいたしました「ふるさとの写真」がいよいよ展示されます。

ぜひご来訪のうえ、ご覧ください。

◇開始日時: 4月1日(土) 午前9時～

◇会場: みや交流サロン

(飛驒位山文化交流館内)

■温泉保養施設等利用券の新年度交付について

支所での交付は4月3日からです。

◇対象者: 65歳以上等の市民

本人確認書類をお持ちください。詳しくは「広報たかやま」をご覧ください。

講師の先生ありがとう サタデイサークルが閉講

3月11日にサタデイサークルの閉講式が一之宮公民館で行われました。子ども達のほかに講師の先生や小中学校の両校長先生にも参加していただきました。

式の中で松下校長は、普段できないことを教えていただいた講師の先生方にお礼を言いますと「ありがとうございます」と一緒になってお礼を述べられました。

講師の先生からは一言ずつ講評をいただき、また、子ども達は一人ひとり感想を述べました。

「球が打てるようになった」「作法が身についた」「次も参加したい」という子どもの声に、講師や主催する側も励まされました。

関係者のみなさんどうもお疲れさまでした。



子ども達は一人ひとり感想を述べました

宮保育園に女性部が「すくすく募金」贈る

まち協女性部では、長年地道に続けている1円玉募金の名称を今年度から『すくすく募金』と改め、

一之宮町の子ども達のために役立ててもらおうという活動をしていきます。役員が一軒一軒各戸を回り、約5万円の募金が集まりました。

3月7日には宮保育園へ部長の富田奈緒子さんが訪問し、子ども達が喜んでくれることに使ってもらい募金を渡しました。

奥原園長先生からは「子ども達の大好きな絵本を購入したい」と感謝の言葉を頂きました。

女性部の明るく楽しい活動を通して地域と確実につながっていることを感じました。ご協力して頂いた方々にこの場を借りてお礼申し上げます。
(牟丸朋子)



富田部長から募金を受け取る奥原園長

親子で「がんどうち」

華やかなお雛様に感激

家々を回って、飾ってある雛様を見て回る「がんどうち」が3月9日に行われました。

社会福祉協議会の「ネバーランド」の主催で、乳幼児の親子9組が参加しました。

今年には洞下の架場教子さん宅のお雛様を見せていただきました。

架場さんの家では座敷いっぱい土雛から新しいシックなものまでたくさんのお雛様が飾ってあり、そのうえ、手作りの吊るし雛もあって、参加者はその華やかさにびっくり。

架場さんからは雛祭りに関する昔の風習などの話を聞かせていただき、甘酒やお菓子、ひし餅などもごちそうになり大喜び。

親子共に、楽しくておいしくて、また、ためになるひと時を過ごすことができました。



「がんどうち」に参加した親子のみなさん



最後の合唱をする卒業生

中学校では、7日

に卒業式が行われ、35名が9年間の義務教育を修了しました。

卒業式では、一人ひとりに卒業証書が三輪太雄校長より授与されました。

在校生の送辞に対して卒業生は、学級がまとまったのは合唱のお蔭と、素晴らしい合唱で答えていました。

一之宮文化祭やトレイルランなど地域の貢献などで活躍した卒業生、今後のご活躍を期待しています。

小学校では、23日に卒業式が行われました。卒業生26名中、ジュニアオリンピック出場中の2名を除いた全員に松下操校長から卒業証書が授与されました。

卒業生は、証書を胸に将来の夢や決意を力強く述べました。在校生は、卒業生一人ひとりへの

**卒業
おめでとう!**

あこがれの姿、頑張った姿など思い出を述べて送り、卒業生は「仰げば尊し」の合唱や言葉で、これまでの思い出や感謝を述べました。



一人ひとりが壇上で決意表明

宮保育園の卒園式は24日に行われ、卒園児19人が奥原祐子園長から一人ひとり卒園証書を受け取った後、園生活で一番楽しかったことと大人になったら何になりたいかを大きな声で発表しました。

先生や在園児の合唱の後、卒園児は「ありがとう」をこめて「を元氣よく歌ってお別れしました。



在園児に向かって歌を歌う卒園児